



学校だより

みつめ みがきあい みらいをひらく 南神の子

南神大寺小学校
1月号
令和6年1月9日



みなかん HP

新年のご挨拶に代えて

校長 岩田 和也

寒さは厳しいものの穏やかに晴れ新年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様、あけましておめでとうございます。本年も私たち南神大寺小学校教職員は、子どもたちの健やかな成長を願い、保護者の皆様、地域の皆様と共に子ども一人一人を徹して大切に、支援・指導してまいります。本年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、一月一日夕方に能登半島で発生しました地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、また被災されました皆様に心からお見舞いを申し上げます。被災された皆様の安全と被災地域の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

少し前のことになりますが、昨年末、学校に一本の電話をいただきました。電話の相手は地域にお住まいの方でした。お電話の内容は、その方が大きな荷物を抱えて、帰宅する途中に南神大寺小の子どもに「お荷物をお持ちしましょうか」とやさしく声をかけてもらいましたというお褒めの言葉でした。こんなにも爽やかで素直、思いやりがある子どもを育てているのだなと光がさしてきたような気持ちになり、思わず学校にお電話をくださったとのことでした。普段なかなかお褒めのお電話を頂戴することが少ないのですが、それだけにとてもうれしく、朝会で子どもたちにも報告し、その行いを認める話をしました。

当然のことながら、子どもの成長を支えているのは、学校だけではなく、家庭や地域の支えがあつてのことと、この度のお電話のお話をご家庭や地域の皆様にもお届けしたいと記させていただきました。私たちもこのお電話にどれだけ元気づけられ、勇気づけられたことか、お礼の言葉をその方にお返しをしました。冬休みには、子どもたちは、ご家庭や地域のなかで、家族や親戚、地域でつながりあるひととのきずなを一層深め心温まる時間を過ごしたことだろうと感じます。子どもたちへやさしさをたくさん注いでくださった保護者や地域の皆様の心に、この便りが少しでも元気や勇気となって届き、これからも子どもを支える力となってくれたらうれしく思います。

もちろん、人は誰もが失敗を繰り返しながらの成長であり、ある場面では自分の行いや考えを振り返り内省することを求められることもあります。学校はこれからも子どもをある一面だけからみるのではなく、多面的、多角的に見て、その子どもが必ず持っている良い部分を伸ばしていくことに力を注いでまいります。そして、これからも子ども一人一人の成長を広くご家庭や地域に届けていくことをお約束し、学校が社会に果たす使命として明るい光を届け続けられるよう教育活動に取り組んでまいります。

思いやりとやさしさがあふれる南神大寺小学校がこれからも続いていきますよう、本年もご理解とご協力のほどどうぞよろしくお願い致します。

令和6年 本年もよろしくお願い致します。 南神大寺小学校 教職員一同